

# 身近なものを描いてみよう！ (デッサン、または水彩)

せいさく さいかい しょにち  
制作した絵はレッスン再開の初日に持ってきて下さい。

## 用意するもの

スケッチブック (F6 または B4 サイズ。オススメは「マルマン S86」 <https://bit.ly/2A0jGQ6>)

または

八つ切り画用紙 (四つ切りを半分に切っても○) + 画板 (木の板でも○) + 画板に紙をとめるもの (画びょう、クリップ、マステ等)

※どちらも、紙の厚みは「厚口」がおすすめです。

## がざい 画材

デッサンの場合 ..... えんぴつ 鉛筆、消しゴム、カッター

水彩画の場合 ..... 鉛筆、消しゴム、水彩絵の具セット

## 制作時間のだいたいの目安

6時間 (1日2時間で3日間でも、1時間で6日間でも OK。取り組みやすいペースで制作しましょう)

## テーマ① 5月第2～3週

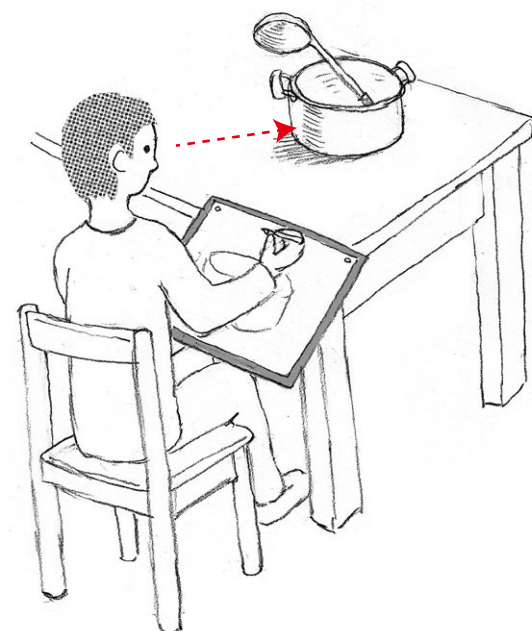
### 「家の中にある『物』を描いてみよう」

つくえ お  
机 (テーブル) の上に置ける物で自分が描きたいと思う物をさがそう。

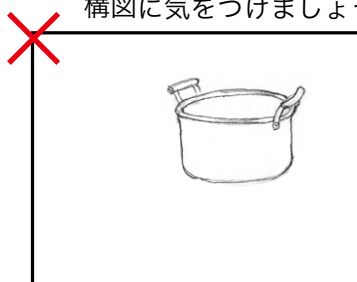
(例... 皿・コップ・なべ・やかんなどのキッチン用品、ビン・カン、ぬいぐるみ・人形・置物、帽子・くつなどの衣類、カメラ・卓上ライト・めざまし時計・電球などの機械、パンチ・金づち・ドリルなどの工具、ボール・グローブなどのスポーツ用品、じょうろ・植木鉢、ほか)

物は1個でも、いくつか組み合わせて置いても OK。画用紙はタテヨコ自由。

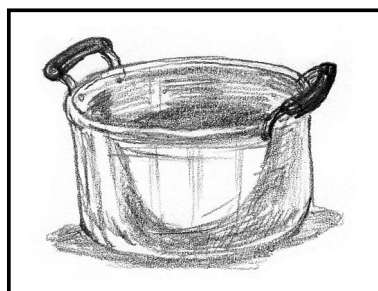
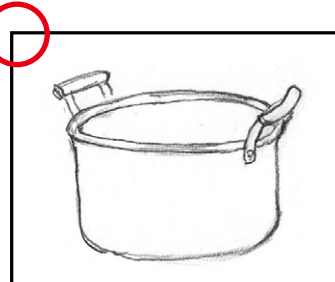
※観察しにくいので、小さすぎるものはやめましょう (例、キーホルダー、画びょうなど)



こうず  
構図に気をつけましょう。



小さすぎる。  
どこかが大きく空いている。



デッサンをする人は、りんかく線だけではなく、影もつけましょう。(はじめての人は体験の時の「紙コップのデッサン」を思い出しましょう)

水彩画の人は、鉛筆で (影をつけずに) 下がきをして、絵の具で色や影を表現しましょう。黒は使わず、暗い色も混色で作りましょう。

※テーブルに物を置き、少し離れて全体が見える所から描きましょう。スケッチブック (画板) をひざに置いて机のへりに立てかけると描きやすいよ。

描き終わるまで、なるべく物は動かさないようにしましょう。

テーマ②は5月18日ごろに送るね! >>>